

地方公共交通ネットワークの利便性に輸送施策が与える効果の評価手法

奥田大樹 渡邊拓也 深澤紀子 鈴木崇正

本研究では、まず、地域の交通実態に関するデータの蓄積が乏しい地方都市でも適用可能な、公共交通ネットワークの利便性を定量的に評価する手法を構築しました。本手法は、鉄道やバスの運行経路やダイヤの変更といった様々な輸送施策が、公共交通ネットワーク全体の利便性に与える効果を、現状を基準とした変化率で定量化し評価することができます。そして、本手法を実装した公共交通ネットワークの利便性評価システムを開発しました。本システムでは、鉄道路線やバス路線の輸送サービスを変化させた場合のシミュレーションが可能であり、沿線の小地域(1辺約500mの地域メッシュ)単位での公共交通ネットワークの利便性の変化率の推

計と、その結果の可視化が可能です(図)。本研究の成果は、鉄道やバスが一体となって効率的に機能する、地域にとって望ましい公共交通ネットワークを創り上げていく際の、定量的な評価手法として活用することができます。

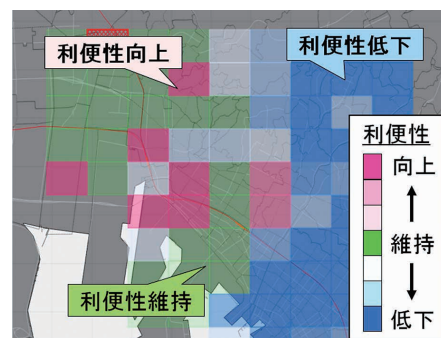


図 小地域単位の公共交通ネットワークの利便性の変化